

事業所名

児童発達支援RePort東北若葉教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

14日

法人（事業所）理念		安心と笑顔が広がるみんなの居場所						
支援方針		お子様一人ひとりの発達段階や個性に寄り添いながら、集団生活の中で必要な生活動作や社会性を育むことを大切にしています。昼食をはさんでの長時間預かりを通じて日常生活のスキルを身につけ、安心して過ごせる環境を提供します。また、コミュニケーションに課題を抱えるお子様には幼稚園・保育園に近い時間帯での午前活動を通し無理なく集団活動に参加できる機会を作ります。さらに、幼稚園・保育園と併用するお子様向けに、降園後通いやすい時間帯でプログラムを提供し個々の成長を支えます。お子様の発達を総合的に支援し、自身をもって社会へ踏み出せるよう温かく丁寧な支援を行います。						
営業時間		14:00分～15:00分 を除く	9時	30分から	16時	30分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の健康を守るために食事や身の回りの支援をします。元気に過ごせる規則正しい生活リズムを作る事も大切です。また、ストレスを減らしリラックスして過ごせるよう生活環境を整えます。転ばないように気をつけたり、けがをしたときにすぐに対応できるよう安全に過ごせる環境作りをしています。						
	運動・感覚	生活に必要な感覚が上手く働くように支援します。真っすぐに立ったり、バランスを取ったり、触ったり、見たり、聞いたり、これらを楽しく活動に取り入れ感覚刺激を取り入れます。さらに着替えや食事などの細かい手の動きの練習も行います。これらを通して身体を上手に使えるようになり、生活が楽しくなるように支援します。						
	認知・行動	忘れ物を減らしたり集中できるようにするための練習をします。困った時にどうすれば良いかを一緒に考え、問題を自分で解決する力も育てます。また気持ちを落ち着かせる方法も学びます。課題や作業に集中しやすい環境を作る工夫もします。これらの活動を通して自信をもって生活できるように支援します。						
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを伝えたり、人のお話を聞いたりコミュニケーションの練習をします。またジェスチャーや表情を使ったコミュニケーションも大切にします。1人ひとりのペースに合わせて楽しく学べるように、お子様が安心できる環境を整えて支援を行います。						
	人間関係 社会性	お友だちや支援者と心地よく過ごせるように支援をします。例えば「ありがとう」や「ごめんね」を伝える練習をしたり、順番を守ることや一緒に遊ぶルールを学びます。またお友だちの気持ちを考えたり、自分の気持ちを上手に伝えることも大切にします。集団生活を楽しく過ごせるように1人ひとりのペースに合わせて支援します。少しずつできることを増やし、自信を持てるようにサポートしてまいります。						
家族支援		お子様の成長を家族みんなで支えられるようにサポートします。子育ての悩みや心配事を一緒に考えながら、安心できる場所を作る事も大切にします。お子様の得意なことや苦手なことを理解し、家族でできる関わり方をアドバイスします。ご家族が安心して笑顔で過ごせるように気持ちに寄り添いながら支援します。			移行支援		通所中のお子様スムーズに次の寛容へ移行できるように支援します。具体的には小学校への特別支援学級や通教指導教室への移行、児童発達支援事業所から放課後等デイサービスへの移行などをサポートします。環境の変化による不安を軽減し、お子様が自信をもって新たなステップに進めるよう段階的に支援してまいります。	
地域支援・地域連携		お子様やご家族が地域の中で安心して過ごせるよう支援します。所属する幼稚園や保育園、児童センターなど安心できる場所とつながるお手伝いをしたり、楽しくできるイベントや活動の紹介をします。地域の方と連携して行うワークショップにも尽力し、地域連携の輪を広げられるよう支援します。			職員の質の向上		定期的な研修を実施し、発達支援に関する最新の知識や実践的スキルを習得する機会を設けます。また職員同士の意見交換やケース検討を行い、実践の中で学び合う環境を整えています。	
主な行事等		月に2回ほど食育イベントの開催を行っています。また月のうち1週間を食育ウィークと題し、身近な食べ物に触れる機会を設けています。季節にちなんだ行事も適宜開催しております。						